

明峰地区老連訪問・懇談会報告

2023.8.30 IT推進部 島川・川副

- ・日時 : 2023.8.28. 13:00~15:00
- ・場所 : 明峰公民館 (1F 明峰コミ会議室)
- ・出席者 : 明老連 : 越智会長 (鶯友会)=当日の司会、土師会長 (はぎの会)、倉島会長 (鶯台クラブ)
斎藤会長 (湯山台藤の会)、新子会長 (錦友会)、藤井会長 (南の坂クラブ)
小南監事 (はぎの会)、欠席→ 前田会長 (白萩会)、船渡理事 (白萩会)
市老連 : 岡田会長、宮前副会長、IT推進部 島川・川副
- ・配布資料 : 地区老役員会レジュメ (8月度 明老連役員会)・・・2枚
市老連HPナビゲーション (HPプレゼン手元資料)・・・4枚

- 議事 1、** 8月度 明老連役員会・・・配布レジュメに沿って「報告事項」・「今後の予定」・「審議事項」の内容説明、質疑応答が行われた。明峰地区では各単老、地区老で活発にイベントが開催されていることがよく判った。
G. ゴルフについては、今年度から明老連・明峰コミ協議会共催で実施となった由、場所確保・経費節減・地域の全体の融合等の観点から好ましい傾向、他地区老へ水平展開すべき事項であろう。
- 2、** 市老連役員 (会長・副会長) との意見交換
- 1) 岡田会長より、明老連さんは活動・ご意見活発とお聞きしている、本日は忌憚ないご意見を伺いたい・・・
 - 2) 7月度明老連役員会で問題提起の女性部令和5年度議案書&令和5年度シニアの集いの件
宮前副会長より、添付資料の(1)&(2)説明、間違い・不手際に関し陳謝あり。
地区老より、もっと予算を厳密に算定、収支の差異を少なくして下さい、との要求あり。
 - 3) 市から市老連への補助の見直し・事務局業務の移管について
岡田会長より：現状、市からの市老連行事の補助が殆ど無くなる、今までの地域福祉課が行ってきた市老連事務局業務も全て市老連へ移管 (含む事務所、事務機器・事務用品) と言った非常に厳しい状況にある。これでは市老連としては全くやっていけないは明白、最低限インシャルコストは市負担の線での話を持ち込む。地域福祉部との話合の後、越田市長へ直談判を行う。
明老連より：①市は市老連を潰そうとしているように見える、老人福祉法を盾に、これまでの老人会の貢献度、存在を前面に出し、強硬な姿勢で交渉に臨むべきである。②川西市の高齢者人口6万人、市老連の会員数3千人であり、1/20に対しての今の優遇措置を見直す、との市の考え判らないでもない ③市からの補助が無くなり、これまでのような市老連として活動出来なくなるとの事なれば、市老連は形だけを残し何も活動しなければ良いのでは？ それで、各単老が今の補助金96,000円/年 (又は90,000円/年) 貰えれば良いが・・・。
 - 4) 市老連の活動費について
地区老より：①活動費の名目で交通費の一部が支給されるようになっているが、理不尽である。単老、地区老、自治会、地域コミュニティ等での世話役の仕事はボランティア (一部自腹も) で良いが、市老連での活動は別枠、交通実費+アルファ (=活動費) と言った格好に見直すべき、予算無いなら、イベントを減らせば良い、郵送料も大きく節減出来る筈である。
②以前よりそういった話 (=交通費実費) あり、規定を作ったが、予算無いとの事で立ち消え、市老連での活動は原則ボランティアであるとのことなるも、果たして本当にそれで良いのか？
市老連より：交通費実費の話は昔からあったが、費用が膨大になる (予算が無い) との理由からだけでボツになり、活動費の名目で交通費の一部を支給することになっている、更に費用下げる為4回の足切りと天井 (18回?) を設けて。
本件上述他議論続くも時間切れ (司会よりストップ掛かった)・・・
- 3、** 毎回実施のHPプレゼン (会議室の壁に約20分程度HP全般を放映・内容説明)
明峰地区の場合、役員の全員がパソコン又はスマホを所有、一応はHP閲覧されている模様。但しスマホのみの方、トップページの年度イベントの写真、動画のみの閲覧となっている公算大との事から、今回はスマホでのHP閲覧方法の説明を実施 (見開きトップページ左上のマーク=横棒三本をタップしての分岐ページの開く手順)。この説明意味あり、次回も行う。

以上